

## 目 次

巻 頭 言

はじめに

序 章	地域共生社会と社会福祉——本書のねらい……西村 淳	3
1	近時の「地域共生社会」論	3
2	「地域」の論じられ方と本書における地域共生社会論	4
3	阿部志郎の地域福祉と本学の理念としての ヒューマンサービス	5
4	本書の構成	6

### 第 1 部 総論——社会福祉実践と地域共生社会

第 1 章	地域共生社会とヒューマンサービス……臼井正樹	12
1	二つの補助線と地域共生社会	12
2	なぜ地域共生社会を目指すのか	13
3	地域共生社会とコミュニティ	14
4	コミュニティから「社会」へ	15
5	社会という関係性の持つ二面性	17
6	ヒューマンサービスの意味	19
7	目指すべき地域共生社会についての若干の補足的考察	24
8	介護福祉に関する考察	28
9	まとめにかえて	30
第 2 章	地域共生社会における地域福祉法制……西村 淳	32
	——個人支援と地域支援の現状と課題	
1	地域共生社会における地域福祉法制	32

2	地域福祉制度史・理論史から	33
3	地域福祉の制度的検討の視点——要素別位置づけ	37
4	実定法の分析	38
5	地域福祉における権利性	43

### 第3章 地域共生社会における安心確保の検討

——ホームヘルプ代替充足から「生活見守り・相談」確立へ

.....中村美安子 47

1	一人暮らしが標準化する社会	47
2	安心はどう充足されてきたか	48
3	地域の「生活見守り・相談」の充足	52
4	訪問型「生活見守り・相談」のニーズ	57
5	地域共生社会における「生活見守り・相談」の確立	59

### 第4章 戦後の日本における医療ソーシャルワーク史

——昭和20年代～30年代の神奈川県における医療ソーシャルワークの歴史

.....高橋恭子 62

1	地域共生社会と神奈川県の医療ソーシャルワークの歴史	62
2	戦後の神奈川県の医療ソーシャルワークの始まり	63
3	日本医療社会事業協会神奈川県支部の設立と 地域における研修会	66
4	村山午朔と医療ソーシャルワーク	68
5	当時の実践内容	70
6	昭和20年代～30年代の神奈川県の 医療社会事業についての総括	74

### 第5章 我が国のソーシャルワーカーの選ぶ道

——真の地域共生のために「社会正義」という価値を

受け継ぐことができるか?.....川村隆彦 79

1	我が国のソーシャルワークの危機は地域共生の危機である	79
2	社会正義の価値は、我が国に根付いているのか	84
3	社会正義の価値を守るための残された選択肢	91

## 第2部 各論 I——地域共生社会の制度研究

第6章	介護保険制度20年目の検証	山本恵子	98
	——準市場の視点から再考する		
1	地域ケアの志向を強める介護保険制度		98
2	介護保険制度の20年間の歩み——基本構造の再確認		99
3	介護事業者の経営と介護報酬		101
4	介護保険制度の展望		104
第7章	認知症の人の「共生」「予防」「備え」を 基盤とする地域づくり	大島憲子	107
1	認知症の視点から地域共生社会を考える意義		107
2	国内・外における認知症施策の新たな推進体制		109
3	認知症の人と家族を支える医療・介護専門職等の人材育成		114
4	認知症の人が参画する認知症戦略は パラダイムシフトとなるか		116
5	認知症の人の「共生」「予防」「備え」を基盤とする 地域づくりへ		118
第8章	地域包括ケアシステムにおける 住民サービスと公的規制	川久保 寛	123
	——介護サービスの公的規制をてがかりに		
1	地域包括ケアシステムにおけるサービス		123
2	介護サービスの質の確保と公的規制		126
3	サービスを提供する主体と公的規制		129
4	住民サービスにおける公的規制		133
5	地域包括ケアシステムにおける公的規制		136

<b>第9章</b>	<b>女性の住居喪失と生活困窮者自立支援制度</b>	
	——一時生活支援事業の有効性と課題	吉中季子 138
1	女性の貧困と住居喪失	138
2	女性の「住居喪失」と「ホームレス」——広義の捉え方	139
3	居住支援に関する多様な制度と一時生活支援事業	142
4	女性の一時生活支援事業の利用	147
5	一時生活支援事業が行き場のない 女性のセーフティネットとなるために	150

## 第3部 各論Ⅱ——地域共生社会の実践研究

<b>第10章</b>	<b>重度知的障害者等の自律的な地域生活の 拡充を目指して</b>	在原理恵 158
	——日本におけるPAの展開のための課題検討	
1	障害者権利条約19条の権利実現のために	158
2	パーソナルアシスタンス（PA）とは	160
3	日本における重度訪問介護の展開	163
4	自律的な地域生活の主体を限定せず広げるために	167

<b>第11章</b>	<b>障害者の「働きたい」を支える</b>	行實志都子 170
	——安心できる居場所から自己実現を目指して	
1	障害があっても働きたい	170
2	障害者の就労支援の歴史	171
3	やさしい雇用への取り組み——川崎市超短時間雇用モデル	175
4	就労支援の固定観念を崩して	177
5	安心できる居場所から自己実現を目指して	180

<b>第12章</b>	<b>地域共生時代の高齢者入所施設</b>	石井 忍 182
	——特別養護老人ホームにおけるボランティア	
1	地域に開かれた福祉施設	182

- 2 施設の歴史 182
- 3 制度の変遷と高齢者の地域生活 184
- 4 高齢者施設の変遷・措置時代から契約へ 185
- 5 地域包括ケアシステムの構築とその背景 187
- 6 特別養護老人ホームSにおける地域での施設ボランティアの在り方 188
- 7 これからの特別養護老人ホームにおけるボランティアについて 190

### 第13章 障害のある人への社会福祉実践と地域共生 ——個別支援と地域支援の統合をめざして……岸川 学 193

- 1 地域共生社会と障害のある人への社会福祉実践 193
- 2 知的障害者を支援する通所施設と地域共生 194
- 3 地域を巻き込んだ個別支援 200
- 4 実践事例の分析に基づく支援課題の整理 206
- 5 おわりに 209

### 第14章 「当事者」の力と地域共生……種田綾乃 210 ——精神障害者当事者活動の展開地域の実態から

- 1 なぜ今、「当事者」なのか 210
- 2 「当事者」とはなにか 211
- 3 「当事者」との出会い・関わりがもたらすもの  
——精神障害者当事者活動の展開地域の実態から 212
- 4 「当事者」という視点から地域共生を考える 218

### 第15章 地域で暮らす高齢精神障害者に対する支援 ——退院後の市民としての生活を支えるために……中越章乃 221

- 1 精神科長期入院の現状と高齢精神障害者 221
- 2 高齢精神障害者に対する継続した生活支援の必要性 223
- 3 高齢精神障害者に対する支援事例 224
- 4 高齢精神障害者に必要な生活支援とは 226

- 5 「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」に  
できること 227
- 6 まとめ 229

おわりに